

市民のひろば



猛威をふるった「春一番」。(国分で)



ふんばり物

香南中二年生の筒井美江さん。第20回読書感想文最優秀作文に「花咲か」で県入選。

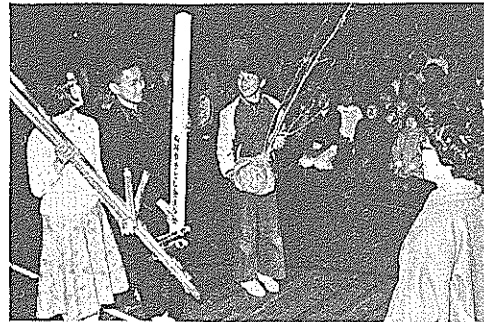
友だちの高木快枝さんが評する「筒井美江」は、「明るくて、少々おこりっぽい。人を叩いて泣かしたりするがやき。でも、おこりゆうほうがこの人らしいです。」短気でおこりっぽい所が、美江さんの場合は明るさにつながっているらしい。

読書が大好きで高木さんによれば「図書室の本を全部読んでいたのでは……」歴史、伝記ものが好きで、たとえばアンネの日記。「人間や物に対する絶対ともいえる愛情、私はすばらしいと思う」と「花咲か」の感想文に書いている。美江さんのやさしさが、この文章から伝わってくる。

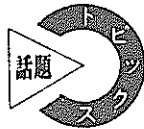
入選おめでとう。

新聞配達に生きがい

良き友より配達の職をいたたいから十ヶ月を迎えようとしています。雨眼血の病、片耳は丹毒を病んだ原因で不自由な私には、若い頃大好きだった細かい仕事は出来ず、この新聞配達こそ本当に生きがいを感じさせてくれました。朝は夕方より多少見え易いので朝日と同時に発します。最初の三、四日間、見えにくい所はパラソルを杖の代わりに頼りに、終戦後十年間電気料の集金に歩いた道ゆえ思い出せました。危いカーブで小川、小溝などに落ちたこともありすが、「失敗は成功の元」の言葉の通り努力しました。七十



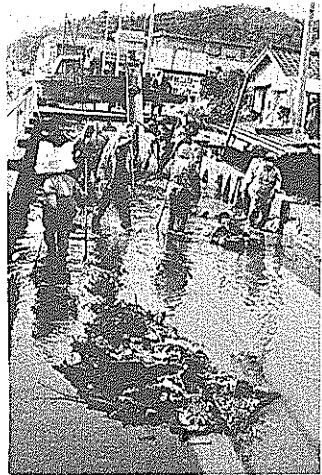
二月二十五日、子供の会キャラバン隊が市内小学校を訪門。木蓮と竹馬が贈られた。三和小で。



2月25日、長岡小学校の六年生が卒業遠足で地引き網を引いた。チビッコたちは大喜びでヨイショヨイショ。(浜改田で)



3月1日から始まった山田堰井筋の水止め。汚ない川もみるみるまにきれいになっていく。南国税務署西側で。



三月八日、第三回南国市はし拳大会が、市民体育館で行われた。団体戦、個人戦それぞれ九十六名が参加して熱戦がくりひろげられた。



三月十三日、中学卒業「就職を励ます会」が市役所で行なわれた。今年の就職生三十三名。写真は香長中学の就職生。



3月7日、市役所庁舎で防火訓練と避難訓練が行われた。写真は消化訓練と避難訓練。



二月十一日、祝日である。建国記念日とも一つ私たちの祝日である。結婚記念日、結婚して十三年の歳月、もちろん普通の日であった。それが建国記念の日と言う祝日になり、私は「建家記念日」とおきかえ園中が祝ってくれているとわかってにききこみ、終生わすれることの出来ない日になってしまった。長いようであるが、まにやら流れ過ぎた日、長いようで短かった日、この過ぎさった日々。いろんなことにつきあたり、はじき飛ばされ

建家記念日

自信があります。今後とも不自由なら「我克服せよ、不運上に上下り下に下有り」という心いきて一生懸命努力し続けたいと思います。何事も、勇気、忍耐、努力、希望を持って実行いたしましょう。いつまでも「新聞のおぼちゃん」であることを念じながら、また、せちがらいつ世に負けず元気で子供たちの中から一人でも多く尊敬される人物の出でくれることを祈りつつ、今日も心をこめて歩み続ける私です。

清岡照子 (立田 56歳)

たり、のめりこんだり、笑ったり、泣いたり、無我無中で過ぎし日。先輩の「死の後にならないと幸福不幸が解らない」ということ。若くしてわが子を亡くして一生の不幸を背おってしまった私たち。どんなことにもめげることはないと、これからの人生を泣き笑いで過ごそうと思ふ。今日も「おかせりなさい、おつかれさま」と主人をむかえる私です。

田内紀代 (片山)